

情報科 1年		社会と情報		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	社会と情報	対象	全	コース	単位数 2 単位
教科書	最新 社会と情報 新訂版			出版社	実教出版
副教材	ポイントでマスター 基礎から始める情報リテラシー Office2016				

1 学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを、適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を身につける。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の趣旨	日常の様々な事柄から自ら問題を発見し、効率的に解決を図る力を身につける。	『高度情報科社会』に適応するための情報処理能力を身につける。	課題や目的に応じた情報手段を適切に選択し、効率良く情報を収集し、判断・処理して、効果的に発信・伝達できる能力を身に付ける。	社会生活の中で情報や情報機器の果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、適切な対応が取れるようになる。
評価の方法	確認テスト 単元テスト レポート 観察など	確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート 観察など	確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート 観察など	確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート 観察など

②成績評価の方法

各学期の評価：課題制作：4割 期末考査：5割 平常点：1割

学年評点：各学期の得点の平均

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4	アンケート コンピュータ室の使い方	コンピュータ室及び、コンピュータ使用上の一般的な注意を理解する。	2
		中学校までのコンピュータ、インターネット等の経験を調査する。アンケートの結果はコンピュータ上で入力し、集計する。	
	情報とは何か データとは何か	身の回りの様々な問題点を解決するためにどのように「情報」を扱っていくか、また、「情報」を取捨選択し、「データ」にする方法を身につける。	2
4~5	ワープロソフトの活用	ホームポジション、タッチタイピングにより効率的な文字入力を身につける。	10
		Wordの機能を利用し、文書作成を行う。	

6~7	表計算ソフトの活用	表計算ソフトの一般的な使用法を理解する。セル、番地、シート、日本語入力、罫線等の使い方を理解する。	10	
		四則演算の方法を身につける。絶対番地を理解する。		
		関数の使い方を身につける。Sum, Count, Average, Rank, Vlookup		
	<1 学期期末考査>			
8~9	インターネット検索方法の基礎知識	ディレクトリサーチ、キーワードサーチ、サーチエンジン、ロボット検索、アドレスのダイレクト入力について理解する。	2	
	ネチケットと著作権	ネチケット、著作権、コンピュータウィルス、インターネット犯罪等について理解する。	2	
9~11	プレゼンテーションを作ろう	プレゼンテーションについて理解する。パワーポイントの使い方を身につける。	12	
		企画立案 プランニングシート、スライドスケッチ、話すことの内容をまとめる。		
		各自それぞれにテーマを考え、インターネット等を用いて資料を収集する。スライドは5枚以上とし、発表効果を考えながら作成する。		
		プレゼンテーションのリハーサルを行う。		4
		プレゼンテーションを修正する。		
12	プレゼンテーション発表会	一人3分以内で発表する。	4	
	<2 学期期末考査>			
1~2	ホームページの仕組み	HTML の基本を理解する。タグの使い方を身につける。	8	
	ホームページを作成しよう	サクラエディタの使い方を身につける。 各自それぞれにテーマを考え、インターネット等を用いて資料を収集する。リンクを効果的に用いながら、ホームページを作成する。	12	
3	情報化社会の光と影	これからの情報化社会のあり方について理解する。	2	
	<学年末考査>			

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。

情報科 2年		社会と情報		年間授業計画 (シラバス)	
科目名	社会と情報	対象	全	コース	単位数 1 単位
教科書	最新 社会と情報 新訂版			出版社	実教出版
副教材	ポイントでマスター 基礎から始める情報リテラシー Office2016				

1 学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを、適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養い、情報社会に積極的に参画する態度を身につける。

2 評価の観点・内容・方法、及び成績評価の方法

①評価の観点・内容・方法

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の趣旨	日常の様々な事柄から自ら問題を発見し、効率的に解決を図る力を身につける。	『高度情報科社会』に適応するための情報処理能力を身につける。	課題や目的に応じた情報手段を適切に選択し、効率良く情報を収集し、判断・処理して、効果的に発信・伝達できる能力を身に付ける。	社会生活の中で情報や情報機器の果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、適切な対応が取れるようになる。
評価の方法	確認テスト 単元テスト レポート 観察など	確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート 観察など	確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート 観察など	確認テスト 単元テスト 定期テスト レポート 観察など

②成績評価の方法

各学期の評価：課題制作：4割 期末考査：5割 平常点：1割

学年評点：各学期の得点の平均

3 学習計画

月	学習単元	主な学習内容と到達目標	時間数
4～6	ホームページの仕組み	HTMLの基本を理解する。タグの使い方を身につける。	4
	ホームページを作成しよう	サクラエディタの使い方を身につける。 各自それぞれにテーマを考え、インターネット等を用いて資料を収集する。リンクを効果的に使いながら、ホームページを作成する。	6
7	情報モラル	SNSの使い方を通してコミュニケーションを理解する。	2
	<1学期期末考査>		

8~11	探究活動の発表資料を作ろう	企画立案 プランニングシート、スライドスケッチ、話すことの内容をまとめる。	6
		各自それぞれにテーマを考え、インターネット等を用いて資料を収集する。発表効果を考えながら作成する。	
		発表のリハーサルを行う。	
		資料を修正する。	2
12	探究学習発表会	グループごとに発表を行う。	2
	<2学期期末考査>		
1~3	資格を取ろう	P検を受験して3級取得を目指す。	11
	<学年末考査>		

※学習状況により、進度・内容を変更することがあります。